

# オカピ通信

第9号  
(2024年2月  
活動まとめ)

## 楽しく海洋ごみの つながりを学ぶ

### 「CHANGE FOR THE BLUE」

#### カードゲーム体験会を開催しました



2月23日、日吉中央公民館で「CHANGE FOR THE BLUE」カードゲーム体験会を行いました。

CHANGE FOR THE BLUEは参加者全員が「ボランテニア」「漁師」などの役割に分かれ、それぞれの立場から海洋ごみを減らすためのアクションを行って、町全体



鹿児島大学ウミガメ研究会の皆さんの活動紹介もありました

のごみを減らしていくシミュレーションゲームです。それぞれのアクションにもなって「市民意識」「便利さ」などのパラメータも変動します。

「これは環境にいいだろう」と思って取ったアクションが、逆にごみを増やす結果につながってしまったり、市民意識が低いと有効にならないアクションがあったり。どんな行動が海洋ごみ問題にどんな影響を与えるのか、参加者全員、楽しみながら学ぶことができました。

#### 日置市100人カイギ 第1回に登壇



2月10日に、伊集院駅近くのPono cafeで開催された第1回「日置市100人カイギ」に登壇してきました。これは、日置市で面白いことをしている/したい5人が毎回登壇し、参加者の皆さんとつながりを作るために、今後毎月開催されるイベントです。登壇者が百人になったら解散、ということ、この名前がついています。もう一人のサキガケ日置市(移)民、伊牟田さんが中心メンバーに入っています。話を聞きに来た方たちは日置を愛するアツい方ばかり。たくさんの方たちと直接お話しして、刺激と活力をいただきました。

カードゲームを通じてオカピが一番感じたのは、「市民意識」の力。今は何でもプラスチックで包装されている、プラスチックの日本ですが、「プラスチックごみを減らしたい!」という人が増えたら、少しずつパッケージや製品のデザインが変わり、日本のプラスチックの量も減っていくのかな、なんて思ったのでした。

### 福祉×プラごみ 拠点の準備中

南さつま市にあるNPO法人ふうのプラごみ雑貨ブランド、「funno」。昨年から、障害を持つ施設の利用者さんがプラごみを使った雑貨づくりに取り組んでおり、オカピも携わっています。

この春には施設の敷地内にショップ兼工房を開設予定です。現在、絶賛開店準備中。掃除、飾りつけ、看板の設置など、ワクワクしながら作業を進めています。



ショップを飾る海洋プラアートも製作中!  
(フグに見えますか...?)

### オカピの目

オカピがプラスチックを材料に作った製品は最終的にごみになります。プラスチックは土に還らず、燃やされれば余分な二酸化炭素を大気中に放出しますから、どうしたって環境に対する収支はマイナスになります。材料のプラスチックを製品にするのにも、多くのエネルギーを使います。

「リサイクルでエコ」なんて思わず、「なんだかなあ」とつぶやきながらモノづくり、もといゴミづくりをしているわけです。手作業で再生したプラスチック製品で「そういうええ、プラスチックってどんなものだった」と立ち止まって考える人が現れるといいな、プラスチックを日々消費する罪悪感を感じて生活する仲間が増えるといいな、と思ってあれこれと試行錯誤しています。

オカピ通信に載らないあれこれ、インスタグラム(okapi.plastic)で発信中。チェックしてみてください。

製作:岡田香織(サキガケ日置市(移)民) ご意見等は okadakaori.p@gmail.com まで。